

2021年度 第3回10月九大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実に誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。
- 5) [指定語句] は、解答文中のどこかで使用していれば減点しない。

[ 1 ]

問 2 23 点

[指定語句] 国土面積 政策 需要 発展途上国 (下線不要)

※指定語句不足は 1 語につき -1 点

契約率は先進国で高く、発展途上国で低く推移している。先進国では固定ブロードバンドに必要な電話回線や光ファイバー網などのインフラが早期に整備されているうえ、固定ブロードバンドの大口契約者である企業や事業所の需要が多いからである。先進国間では、インフラをより効率的に短期間で整備できる国土面積の小さい国のほうが契約率は高い。また、アジア通貨危機後に IT 産業の振興による経済再建政策を掲げて情報インフラの整備を進めた韓国では、2000 年代前半に高い契約率の伸びを示し、高度情報社会の建設を進める強力な政策によりインフラを整備した中国では、経済成長でビジネス需要も増大し、2010 年代中頃に契約率が急上昇した。

【加点ポイント】

i) 経済水準について (6 点)

- ① 先進国で契約率が高く、発展途上国で低い  
 /先進国は契約率が 2000 年代前半に急上昇したが発展途上国は低いままである  
 /契約率の高さは、国の経済水準を反映している →2 点
- ② (①の背景) 先進国は電話回線などのインフラが早期に整備されている  
 /発展途上国は電話回線などのインフラ整備が遅れている →2 点
- ③ (①の背景) 先進国は企業や事業所などの大口需要が多い  
 /経済活動が活発な国は固定ブロードバンドの需要が高い →2 点

ii) 国土面積について (4 点)

- ① 国土面積の小さい国のほうが契約率は高い →2 点
- ② (①の背景) インフラ (固定回線) をより効率的に短期間で整備できる →2 点

iii) 韓国 (B国) について (7点)

★問1「B:韓国」の正解を加点の前提とする

- ① (契約率推移の特徴) 2000年代前半に急上昇した  
／図中の国の中で最も早く契約数が伸びた →2点
- ② (①の背景) アジア通貨危機 →3点
- ③ (②の後に) IT産業の振興による経済再建政策を掲げた  
／情報インフラ整備を政策として進めた →2点

iv) 中国 (D国) について (6点)

★問1「D:中国」の正解を加点の前提とする

- ① (契約率推移の特徴) 2010年代中頃 (2015年以降), 契約率が急上昇した →2点
- ② (①の背景) 経済成長/ビジネス需要の増大  
／製造業の高度化のため通信インフラの整備が必要となった →2点
- ③ (①の背景) 高度情報社会の建設を進める強力な政策  
／政策によりインフラ整備を急がせた →2点

( ※「iii) ③」と「iv) ③」をまとめて

「韓国も中国も政策により情報インフラ整備を進めた」 →4点 )

問3 15点

移動ブロードバンドで用いるスマートフォンなどの情報端末は、近年開発されたものであるほか、固定電話回線に比べて整備が容易な携帯電話通信網を用いるため、発展途上国でも通信インフラが整っており、先進国、途上国ともに契約率が上昇した。移動ブロードバンドの契約を前提とする社会が構築されると、端末を持っていない人の情報アクセス環境がより悪化し、個人間の情報格差が拡大することで、経済格差が広がると懸念される。

【加点ポイント】

i) 移動ブロードバンド契約率急上昇の背景について (10点)

- ① (用途) スマートフォン/情報端末/タブレット/ノート型パソコン →2点
- ② (①は) 近年開発された/21世紀になって急速に発展した →2点
- ③ (移動ブロードバンド通信網は) 整備が容易/固定電話回線に比べ安価に設置 →3点
- ④ (③により) 途上国でも導入可能である  
／途上国でも携帯電話通信網はすでに整備済である →3点

ii) 新たな社会的問題について (5点)

- ① 情報格差 (デジタルデバイド) が拡大する  
／端末を持っていない人が必要な情報を得られなくなる/情報弱者が生じる →3点
- ② (①により) 経済格差が広がる/情報弱者の生活環境が悪化する →2点

[2]

問2 18点

アメリカ合衆国とメキシコとの貿易にかかる関税の削減と撤廃により、前者から後者への部品輸出と、後者から前者への製品輸出がしやすくなった。そのため、人件費の安いメキシコにアメリカ合衆国市場向けの自動車の組立工場が多数進出した。一方、アメリカ合衆国では、メキシコへ生産拠点が流出する産業の空洞化が進み、雇用が縮小して失業問題が生じた。そのため、自由貿易の促進から国内産業保護への移行を望む世論が強まった。

【加点ポイント】(※問1の可否は問わない)

i) Aでの自動車生産台数増加の理由について(10点)

- ① アメリカ合衆国(B)市場向けの自動車の組立工場が多数進出した  
／外資の自動車工場が多く進出した →3点
- ② (①の背景)メキシコ(A)は人件費が安い →3点
- ③ (関税撤廃により)メキシコ(A)への部品輸出がしやすくなった →2点
- ④ (関税撤廃により)アメリカ合衆国(B)への製品輸出がしやすくなった →2点

ii) USMCA締結の背景について(8点)

- ① アメリカ合衆国(B)で 産業の空洞化が進んだ  
／ラストベルト(スノーベルト)の景気が悪化した  
／メキシコ(A)へ生産拠点が流出した →3点
- ② (①により)雇用が縮小した／失業者が増加した／失業率が上昇した →2点
- ③ (①②により)国内産業保護を望む世論が強まった  
／国内産業の更なる国外流出を危惧した  
／雇用の悪化は国内産業流出によるという声が高まった  
／国内産業の保護政策を採るトランプ大統領が誕生した →3点

問3 10点

アメリカ合衆国では頁岩からシェールオイル、カナダではオイルサンドから原油を取り出す技術の開発が進み、自給率が向上した。これらの非在来型資源の増産は原油価格を低下させ、産油国の石油産業に悪影響を与えた。

【加点ポイント】(※問1の可否は問わない)

i) B(アメリカ合衆国)とC(カナダ)の上昇について(4点)

- ① (アメリカ合衆国では)シェールオイルの開発が進んだ  
／頁岩(オイルシェール)の利用が進んだ →2点
- ② (カナダでは)オイルサンドの利用が進んだ →2点

ii) 世界経済への影響について (6 点)

- ① 原油価格が低下した →3 点
- ② (①により) 産油国の石油産業に悪影響を与えた/産油国の経済が悪化した →3 点  
(※「原油輸入国は原油価格低下の恩恵を受けた」のみ →2 点)

問 4 16 点

[指定語句] 

自治領	社会主義	単純労働	独立運動	入植者
-----	------	------	------	-----

 (下線不要)

※指定語句不足は 1 語につき -1 点

アメリカ合衆国の第二言語はスペイン語で、その使用者をヒスパニックと呼ぶ。国土南西部にはメキシコ、ニューヨークには自治領プエルトリコ、フロリダ州には社会主義体制下のキューバからの移民が多く、低賃金の単純労働者が多い。カナダの第二言語はフランス語である。フランス語のみを公用語とするケベック州には、初期のフランス人入植者の子孫が多く居住し、独立運動もみられる。

【加点ポイント】(※問 1 の可否は問わない)

i) B (アメリカ合衆国) について (8 点)

- ① (第二言語) スペイン語 →2 点
- ② (①の使用者の名称) ヒスパニック/ラティーノ →1 点
- ③ (国内分布) 「分布地域」と「出身地」
  - ・「南西部/メキシコとの国境近く」には「メキシコ」から →1 点
  - ・「ニューヨーク」には「自治領プエルトリコ」から →1 点
  - ・「フロリダ (州)」には「社会主義体制下のキューバ」 →1 点
- ④ (②は) 単純労働者が多い/低賃金で単純労働に就く →2 点

ii) C (カナダ) について (8 点)

- ① (第二言語) フランス語 →2 点
- ② (国内分布) ケベック州 →2 点 (※「国土の東部」のみ →1 点)
- ③ (分布理由) フランスからの入植者の子孫 →1 点
- ④ (②の特徴) フランス語のみを公用語とする →1 点
- ⑤ (②の特徴) 独立運動がみられる/独立運動があり住民投票で否決された →2 点